

下水道技術開発会議におけるこれまでの取組と今後の取組方針

資料 3-2

活動の柱	H28～R3年度の主な取組	左記の検討状況、課題	今後の主な取組方針(案) ※R3年度末時点
柱①「技術ニーズの把握と発信」	事業主体の技術的課題・ニーズを把握するため、以下を実施 ・全国アンケート調査(H28,H29, R3の3カ年) ・個別ヒアリング調査(6カ年で合計42団体) ・各種会議の議題調査	・技術ニーズ全国アンケート調査を4年ぶりに実施し、各技術開発項目に対するニーズ度合いを確認。過年度の調査と比較して大きな変化は確認できなかった。 ・個別ヒアリング調査は、都市規模等に考慮して実施しており、多様な技術ニーズを確認。 ・各種会議の議題調査により、主に中核市以上の都市における時宜にかなった技術ニーズを確認。	【選択・集中】数年おきに技術ニーズ全国アンケート調査 【継続実施】個別ヒアリング調査 【継続実施】各種会議の議題調査
柱②「技術シーズの把握と発信」	研究開発主体の技術シーズを把握・蓄積するため、以下を実施 ・B-DASH等の技術提案の募集	・技術提案内容等を審議の上、ロードマップを改定(H29.2,H29.8,H30.2, R3.2の4回)。 ・R3年度は、技術提案に基づきロードマップ改定(案)を作成	【継続実施】B-DASH等の技術提案の募集
柱③「ニーズとシーズの架け橋」	ロードマップへの取組状況を確認するため、以下を実施 ・ロードマップに関連する技術開発状況の調査(H30,R1, R3の3カ年)	・【選択・集中】ロードマップの技術開発状況に関する調査は休止	【選択・集中】引き続き、ロードマップの技術開発状況に関する調査は休止
柱③「ニーズとシーズの架け橋」	技術ニーズや技術シーズの有効な意見交換方策を検討するため、以下を実施 ・プロジェクトGAMの活用と産学官連携を検討 ・技術ニーズ、シーズの情報共有のあり方に関する業界団体ヒアリング(R1) ・技術ニーズ、シーズの情報共有のあり方の検討として、課題チェックシートの作成 ・課題チェックシートの改良、試行(R3)	・改良した(仮称)課題解決技術支援ツール(試行版)を地方公共団体等に試行してもらい、機能に関する要望、改善点を調査	【重点化】技術ニーズ、シーズの情報共有のあり方の検討として、(仮称)課題解決技術支援ツール(試行版)の運用開始
柱④「国などの技術情報の共有(グローバルとローカルの架け橋(1))」	意見交換の場の提供に関する提案、連携として以下を実施 ・B-DASHガイドライン説明会、下水道展の展示、下水道キャラバン	・国土交通省下水道部・国総研にて、B-DASHガイドライン説明会、下水道展の展示。	【継続実施】意見交換の場の提供に関する提案、連携
柱④「国などの技術情報の共有(グローバルとローカルの架け橋(1))」	B-DASH技術の周知のため、以下を国土交通省下水道部・国総研にて実施、検討 ・普及展開状況調査、公表 ・B-DASH技術情報資料の作成、公表 ・B-DASHガイドラインのフォローアップ ・B-DASH技術処理場別一覧の作成、公表	・B-DASH技術の情報発信として左記の取組を実施。	【継続実施】B-DASH技術の情報発信
柱⑤「地方の技術開発・技術導入の支援(グローバルとローカルの架け橋(2))」 1)情報、ノウハウの共有による技術導入支援 2)小都市等の下水道事業をサポートする技術の開発・普及方策	技術開発及び技術導入を支援するため、活動の柱①～③の内容に加え、エネルギー分科会にて以下実施 ・各処理規模に対して省エネ技術導入による電力消費量削減効果について整理(R2) ・小規模処理場に関する実態調査(R2) ・(1)地球温暖化対策計画で定める下水道分野の2030年度削減目標の達成、(2)2050年カーボンニュートラルの実現への貢献、のために導入すべき技術分野や技術開発の方向性について議論(R3)	・エネルギー分科会において、「2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するための下水道技術の技術開発ロードマップ(カーボンニュートラルロードマップ)」を作成	【継続実施】カーボンニュートラルロードマップを踏まえ以下を実施 ・温室効果ガス削減目標設定に資するベンチマーク手法等に関する検討 ・将来的な下水道・流域管理・社会システムの全体最適化やあり方に関する基礎検討 等

活動の柱	H28～R3年度の主な取組	左記の検討状況、課題	今後の主な取組方針(案) ※R3年度末時点
	技術ビジョンのフォローアップのため、技術提案の募集、行政・社会ニーズの動向を踏まえ、以下を実施 ・ロードマップの改定検討	・技術提案内容等を審議の上、ロードマップを改定(H29.2,H29.8,H30.2, R3.2の4回) ・R3年度は、技術提案に基づきロードマップ改定(案)を作成	【重点化】 エネルギー分科会の検討結果に関して、ロードマップの再整理の検討
活動の柱⑥「技術開発の戦略・方針の提示」	研究開発等を重点化して実施すべき技術開発テーマを提示するため、以下を実施 ・ロードマップ重点課題の検討	・ロードマップ重点課題を審議し、これまでに6回公表(H28.7,H29.8,H30.8,R1.8, R2.8, R3.8)。 ・ロードマップ重点課題に基づいてB-DASH等が実施されている。	【重点化】 ロードマップ重点課題の検討
	ロードマップへの取組状況を確認するため、以下を実施 ・ロードマップに関連する技術開発状況の調査(H30,R1, R3の3カ年)	・文献調査等により、各技術分野で一定の取組を確認。	【選択・集中】 ロードマップの技術開発状況に関する調査は休止